

コースの概要 (2024年度)

- 期 間 2024年11月22日(金)午後、23日(土)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)
- 会 場 オンラインもしくは一橋大学 千代田キャンパス (東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)
- 定 員 25人
- 受講料 12万円/人
※ 地方自治体職員(病院勤務者を除く)および大学院生(社会人学生を除く)の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円/人いたします。このほか参加日数に応じた割引があります。詳しくはウェブサイトをご確認ください。
- 受講申込み 2024年6月受講申込み受付開始予定(WEB申し込み)
<https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
- 実施者 一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター(HIAS Health)



コースの特徴

EBPM(科学的な根拠に基づいた政策立案)

HIAS Healthにおける最新の研究成果を取り入れ、社会科学の知見を医療の政策立案・実務の現場に反映させることを目指しています。

実務的な統計手法の習得

医療経済分析における統計の手法について、講義とエクセル等統計ソフトを用いた演習を通じて学びます。

座学とグループワークを合わせたアクティブ・ラーニング

講義のテーマの中から事前に受講生に希望調査をし、関心に応じて、5名程度のグループを編成し、グループワークを行います。

受講生間の交流

自治体・医療関係者等、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築を促し、政策立案と現場の連携に繋がります。



●お問い合わせ先
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
〒186-8601 東京都国立市中2-1
URL <https://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>
E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp



社会連携プログラム

第7回

医療経済 短期集中コース

—EBPMで考える医療経済—



一橋大学
大学院経済学研究科
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター

医療経済短期集中コースについて

一橋大学・医療政策・経済研究センター (HIAS Health) では、2018年より、社会人を対象とした高度職業人専門プログラム (リカレント教育プログラム) として「HIAS Health 社会連携プログラム医療経済短期集中コース」を開講しています。コースでは、医療・介護に関わる政策分析、医療機関の経営の実態把握、医療技術の費用対効果分析など、医療・介護のさまざまな現場で、データや情報の活用に関与する分析手法や考え方を、初心者にもわかりやすく講義します。また、行政、専門家、実務者を招き、講演や現場報告を通して、政策上の優先課題について学び、議論します。演習、グループワークなどアクティブ・ラーニングの手法を用い、内容の理解を深めると共に、バックグラウンドの異なる受講者間の交流と関係構築を促進できるようプログラムを構成しています。

保健・医療、介護の現場で仕事をされている方、政策立案に携わる方、民間企業、大学関係者など、医療経済に関心をお持ちの方々に、広く受講していただければと願っております。



本田 文子 Ayako HONDA

一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター (HIAS Health)
センター長
一橋大学大学院経済学研究科 教授

コースの内容 (例: 2023年度の時間割から)

2024年度の時間割は6月にHPで公開予定

- **コースで使われる統計学の基本**
[講師] 中村良太 一橋大学社会科学高等研究院 教授 / HIAS Health 研究員
- **費用効果分析 講義と演習**
[講師] 五十嵐 中 横浜市立大学医学群 健康社会医学ユニット 准教授 / 東京大学大学院 薬学系研究科 特任准教授 / HIAS Health 客員研究員
- **医療保健政策の政策評価 講義と演習**
[講師] 高久玲音 一橋大学大学院 経済学研究科 准教授 / HIAS Health 研究員
- **基調講演 医療 DX を起こすためには何が必要か**
[講師] 黒田知宏 京都大学 医学部附属病院 医療情報企画部 教授
- **医療機関の管理会計について 講義と演習**
[講師] 荒井耕 一橋大学大学院経営管理研究科 教授 / HIAS Health 研究員
- **基調講演 保健政策システムリサーチ (Health Policy and Systems Research: HPSR) の展開—グローバルヘルスの事例から**
[講師] 本田文子 一橋大学大学院経済学研究科 教授 / HIAS Health 研究員
- **DPC 制度とDPCデータを用いた医療の評価**
[講師] 伏見清秀 東京医科歯科大学大学院 医療政策情報学分野 教授
- **時事報告 医療に関する規制改革 (医療データを中心に)**
[講師] 木尾修文 内閣府 規制改革推進室
- **実践現場からの報告 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成に向けた開発途上国の取り組みと日本の協力**
[講師] 戸邊 誠 国際協力機構 (JICA) 人間開発部 国際協力専門員 (保健財政・保健システム) / HIAS Health 客員研究員
- **実践現場からの報告 総診療報酬における医療技術評価について**
[講師] 岡田就将 東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科 教授
- **グループワーク** ■ **グループワーク報告会** ■ **パネルディスカッション**

受講生の声

- 統計解析に多少馴染みがあっても、いつのまにか忘れがちな基本について復習でき、自分の理解レベルから見るととても有意義でした。t 分布や回帰分析一つとっても、先生が使っていた言葉で捉えなおすことで理解の幅が広がった気がします。また、途上国での調査のご経験のお話やデータの批判的吟味の視点なども非常に興味深く、普通の統計学の講義にはないエンタメ要素があったと思います。
- 社会科学の分野でも治験や疫学等と同じような方法論で研究が行われていることを理解し、その事例について初めて本格的に触れることができました。
- 医療DXということで、技術的なお話かと思っておりましたが、医療DXがうまくいかない要因が人の問題ということだということが分かり、目から鱗が落ちる思いでした。
- 個別の機関の管理会計について普段はあまり意識していませんでしたが、個々の機関の取り組みが日本の公的医療保険の破綻回避につながっていくということで、その重要性を認識することができました。
- DPCデータの活用として、リアルワールドの臨床疫学については馴染みがありましたが、その他にも、医療の機能/質の評価や地域医療計画など、多様な目的で医療システム及び現場の課題解決のために活用されていることが理解できました。
- インプットのための研修ではなく、学んだことをアウトプットできる場があるとより学びが深まると実感できました。グループワークの時間もバックグラウンドが異なるメンバーとの意見交換は、発想・思考も異なることがあり、気付きも多くとても有意義でした。
- 医療現場、コンサルなど様々な分野の方とディスカッションできたことは非常に有意義であり、視野を拡げることができました。
- 企業と違い収益は診療報酬になるため、医療は特殊な環境であると改めて思いました。また、人材に頼りがちなところもあると感じ、バランスをとることは重要であると感じました。



2023年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンライン形式 (一部日程対面) での開催となりました。

